

**SO
LIT!**

人と環境と共にあるための紙と印刷戦略

SOLIT株式会社 紙と印刷戦略

作成: SOLIT株式会社
環境人権管理部 和田菜摘
更新日: 2023年10月30日

概要.....	0
はじめに.....	0
SOLITアプローチ.....	1
効率的な梱包と資源利用.....	3
さいごに.....	5

概要

森林は空気を浄化し、水を浄化し、そして野生動物を保護するなどの多くの機能を持つ資源であるにもかかわらず、森林の減少は現在も続いています。誰もどれも取り残さない、オールインクルーシブな社会を目指す、SOLIT株式会社(以下、SOLIT)では、資源保護に対する取り組みの一環として、印刷をしないことも提案される印刷・紙に関する専門家である伸和印刷株式会社(以下、伸和印刷社)と共にSOLITの事業活動に使用する紙資源の影響に対処するためのプロジェクト「印刷物見える化方針書作成プロジェクト」を実行しました。この設計は伸和印刷社が先導してくださり実施したものです。

私たちはこの事例が、紙資源やその他の資源を保護するために、多くの事業者、個人が学び、行動を起こすきっかけとなる示唆となることを願っています。

はじめに

SOLITの掲げる「誰もどれも取り残さない社会」の実現にはBiodiversity(生物多様性)の観点も非常に重要です。SOLITでは未来の環境を守るために、継続してより良い選択をし続けることを誓います。私たちの取り組みの指針は、ホームページにも記載の通り、5つの優先事項をもって取り組んでいます：

1. NO MORE WASTE / 不必要なものを生み出さない

- 必要とされた分だけ受注生産・小ロット生産をすることによって生産ロスを生みません。
- 商品を購入して持ち帰れば捨ててしまうだけの下げ札や、着用に必要なないタグなどをそもそもつけていません。

2. LONG-LIFE PRODUCT / 商品寿命の長期化

- 一着一着、耐久性のある素材を活用することで、より長く使っていただけます。
- セミオーダーで身体に合うものを選んでいただくので、購入したけれど合わなかったから廃棄する...ということを極力少なくしています。

- 汚れや摩耗などの際はいつでも相談をお受けし、リペア・リメイクのサポートをさせていただきます。

3. RECYCLING・REPURPOSING / リサイクルと再価値化

- リサイクル段ボールでの配送をし、梱包に不必要なバージン素材や石油由来の素材をしません。
- 輸送効率を高めるため、余分な空間を作らずぴったりサイズの箱または袋で配送をします。
- 商品の保護には、工場において未使用なのにもかかわらず廃棄となってしまう予定だった「残布」を再活用しています。
- 着続けていただいてもなお、それでも着なくなった服は回収し研究のために活用します。また、その上で使い果たした服はリサイクルパートナーと連携してリサイクル・循環にまわし、リサイクルや循環においてもできる限りエネルギーを使わない工夫をします。

4. HUMAN RIGHTS / 人権保護

- 縫製に携わる生産者をはじめ、企画や制作に関わる者、販売に関わる者も含め、労働賃金や時間・年齢・衛生環境といった面での最低水準のクリアと、きちんと配慮と管理がなされているのかというヒアリングを通じ、人権が守られていることが担保されている場合にのみ依頼をします。
- 開発においても、当事者・プロボノ・専門家など、関わってくださるステークホルダーそれぞれの働きやすさ、関わりやすさと安全性を担保するように配慮をしています。

5. BEYOND RULES / 既存のルールの捉え直し

- 従来の美・消費の定義を常に捉え直し、共に問い、ジェンダーレス、タイムレスなデザインや、多様な体型や特徴をも包括する選択肢であるように努めます。
- ボタンはここにあるべき、縫い目はこうあるべきといった既存のファッションやデザインのルールを超えて、ニーズドリブンな製作を実施します。
- 採用やチーム加入時、商品撮影のモデルにおいて写真の提出は求めません。アンチルッキズムとしてのスタンスを明確に持っています。

SOLITアプローチ

SOLITが梱包・印刷物などの紙資源の利用を通じて現在および将来の森林資源に与える影響を軽減するための戦略は、次のとおりです。

1. 必要なもので、かつ必要な分だけしか印刷しない。
2. 使用する素材/資源の最適解をその都度議論し決定する。

1の「必要なもので、かつ必要な分だけしか印刷しない」というのは、SOLITの大事にしている哲学でもあり、これまで通り紙をより効率的に使用し、無駄な資源を使わないことを今後とも実践していきます。

2に関しては、今回の伸和印刷社とのプロジェクトを通して、「再生紙利用」＝「環境にやさしい選択」だと必ずしも言うことができないということがわかりました。再生紙の製造過程において、使用済みの紙製品を選別し、インクや接着剤などを除去する工程が必要であり、これらの処理に一定のエネルギーや化学物質を必要とするため、再生紙

の製造には一定の負荷がかかることがあります。しかし、これは再生紙の問題だけでなく、一般的な紙の製造においても同様の負荷がかかることがあるため、一番は紙の利用を最小限に抑えることが最適だと考えます。

また上記の理由とともに、SOLITの現状として以下の3つのことが

1. 再生紙・バガス等を利用し、森林資源の少ない紙を利用している
2. 印刷方法がオンデマンド印刷で、必要以上に紙が必要とならない
3. 作成している数も必要な分だけの印刷を徹底している

実践されており、紙資源の利用が比較的少なく済んでいることがわかりました。(上記で共有したJOURNALにて、一般アパレルで行われている取り組みを実施したときの環境インパクトも比較対象として掲載されています。)そのため今後の方針として、毎回資源を使う選択を決断する際に、下記の観点から最適な紙資源を選定することを実践します。

- 発注元
 - 地産地消を心がけて印刷会社を選定します。
利用拠点と近い印刷会社を利用することで、印刷会社-利用拠点間での郵送にかかるCO2排出量を最小値に抑えます。
- 紙の利用
 - 総重量を抑えて印刷します。
 - 規格サイズに沿った印刷をし、無駄な余白を作りません。軽い紙、小さい判形、少ないページ数、紙の利用量の少ない綴じ方をすることで、紙の利用と版の廃棄を最小限に抑えます。
- 印刷の仕方(オンデマンド印刷を継続)
印刷方法では主にオンデマンド印刷とオフセット印刷があります。オンデマンド印刷は、必要な数量だけ印刷するため、在庫を削減し、紙やインクの無駄を最小限に抑えることができるため、環境への負荷が低いと言えます。一方で、大量の印刷に向いていると言われているオフセット印刷はインクと溶剤の使用が比較的多いため、大量印刷では効率的ですが、小ロットの印刷では、余剰の印刷物が出る可能性があり、紙やインクの無駄が生じます。また、製版や印刷工程におけるCO2排出量が比較的多い傾向にあります。そのため、オンデマンド印刷を継続することがSOLITの印刷物の現状にとっても最適であると同時にCO2削減のためにも良いと考えます。

効率的な梱包と資源利用

【2023年、SOLITの印刷物における環境へのインパクト(2022年8月-2023年8月、1年間のデータ)】

- 成木 0.6本
- 総エネルギー量 60万(冷蔵庫0.7個が1年間稼働した分程のエネルギー)
- GHG(温室効果ガスの排出量)* 238kg
- 使用水分量 1837L

- 総排出量 12.38kg

2023年の印刷物でのインパクト



成木0.6本



60万
英国熱量単位

冷蔵庫0.7個が1年間稼働した分程度のエネルギー



238kg



1873l

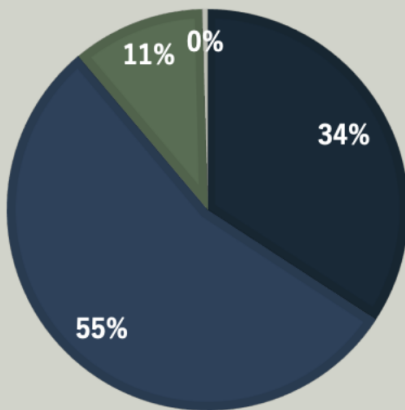


12.38kg

また現状、SOLITのCO2排出量の内訳(%)が以下になりました。

排出量

■ 紙 ■ 印刷 ■ 配送 ■ 廃棄



- そもそも印刷物の作成量があまり多くないため、印刷が締める割合が大きい
(一般的には8割が紙になるケースが多い)
- 印刷による排出量は金額による概算計算であるため、コントロール可能な要素は「紙」と「配送」の部分

上記の伸和印刷社と共に可視化されたデータをもとに、私たちは印刷物のみでなく、SOLITで利用している資源利用に関して徹底的に考察し、利用を評価しました。

そのためには、基本的な質問を自問自答しました：これらの材料をこれだけの量使う必要があるのか？これらの材料の使用は不可欠なのか、それとも代替材料や代替設計が可能なのか。これらの問いから生まれた戦略は、紙資源の利用だけでなく、プラスチックや布資源などすべての資源に対して同様です。SOLITでは、材料の使用量の削減、代替材料や代替デザインへの転換など、多岐にわたり評価、実行しています。

その実行には、下記のような、これまで利用素材やデザインの制約に挑戦しました。

- 納品書の情報をA4紙1枚分に収まるように精査
- 配達の際の緩衝材を残布で代用
- 梱包のための素材は商品に丁度合うものを採用
- [新たな梱包材の導入](#)

この取り組みは組織全体のチームのサポートと、SOLITの環境への影響を減らすという共通のコミットメントがあって達成したものです。

このプロセスを通じて、私たちは、使用する材料の量、環境負荷の大きさ、そしてその削減のために必要なリソースを考慮し、最も大きな影響を与える可能性のある変更を選びました。今後も、継続的に資源利用に対してレビューを行い持続可能性を向上させる努力をいたします。

さいごに

私たちの紙と包装に関する取り組みは、世界的な森林資源の減少における、一企業の努力に過ぎません。しかし、この取り組みは、SOLITの社内外に同様な取り組みを推進させる波及効果をもたらし、より大きな影響を与える可能性を秘めています。

2020年の創業以来、常に「必要なものを、必要な人に、必要な分だけ生み出す。」ことを企業理念として掲げて、あらゆる判断をこの観点に基づき決定してきました。

私たちは、伸和印刷社との共同プログラムが、他の企業にとっても、地球資源に与える影響に責任を背負い、外部のステークホルダーと協力して行うことへの重要性を浮き彫りにすることができればと願っています。

梱包、紙の調達に関するSOLITの取り組みには、継続した努力が必要だと考えます。本稿に関するお問い合わせは、環境人権管理部 和田菜摘 (natsumi@solit-japan.com) またはSOLIT株式会社 (solit-japan@gmail.com) まで。